

たばこの害啓発グループ

問題	計画	実行	評価
【タバコの害について】			
<ul style="list-style-type: none"> ・たばこについての正しい情報、世界の常識が知られていない ・健康増進法が十分に知られていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の広報にタバコの害の情報を掲載していただくように働きかける 市町村の広報のみならず、他の協力いただける団体の会報なども利用検討 ・投書やメールの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康まつり等での普及啓発 松江市健康フェスティバルでブースを出展 当会の会員数を増やす 	
【医療について】			
<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙外来のある施設の認知度が低い ・土日祝日の禁煙外来や子どものための禁煙外来を行っている施設が不明 	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙外来のある施設の周知 ・土日祝日の対応や子どもへの対応など具体的な支援内容の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものための禁煙外来を開設している ・『2005 松江市健康福祉フェスティバル』では禁煙外来のある施設名称のパンフレットをパッチ処方対象者に配布（具体的支援内容は記載なし） 	
【子どもの健康】			
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの前で吸っている ・妊娠中や子育て中の喫煙 ・自家用車の中でも吸っている ・タバコと発達障害や認知症の関連が未解明 	<ul style="list-style-type: none"> ・松江市ならプレパパ・プレママ教室などでの指導 ・車中での喫煙の害についての啓発CMの要望 禁煙支援に積極的なトヨタへの働きかけは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・松江市プレパパ・プレママ教室ではある歯科医が積極的に指導されている ・松江保健所が小児科、産婦人科等に配布 	
【学校教育を利用した子どもの教育について】			
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの喫煙状況が不明 ・学校教育が不十分 ・学校教育では低学年から取り組まれていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村の教育委員会へ学校教育の現状について問い合わせ (講師はだれが(学内か学外か)、対象学年は、時間数は、父兄 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは松江市教育委員会へタバコに関する教育の現状について問い合わせを予定 	

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと親と一緒に学ぶ場がない 	<p>参観とのジョイントは)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師がタバコの情報について教育現場へ積極的に介入する ・積極的でない学校医の施設では校医の了解の下、講師を派遣する(ボランティア)当会がその窓口になる ・教育の主翼を担う養護教諭への教育、協力(年1回ある研修会や学校保健協会への講師派遣) ・タバコ代の値上げが未成年者の禁煙につながる ・紙芝居等を使った教育(もくもく王様) ・禁煙の本を学校へ寄贈 ・演劇による教育 松江親子劇場などへ働きかければ協力いただけるかもしれない ・県内外の学校教育を实践されている医師や歯科医師をお呼びして勉強会を開催したい ・本会が主催して「学校保健に携わる方々を対象として防煙教育の勉強会」を行う <p>う</p>		
--	--	--	--

受動喫煙防止グループ

問題	計画	実行	評価
<p>【公共施設・グラウンドでの禁煙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設(テルサ、スティックビル、学校、公民館、JR)・行政機関の施設内禁煙が徹底していない ・全県下、学校敷地内禁煙ができていない ・スポーツの場(コート、グラウンド、スキー場など)が禁煙になっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設、行政機関の実態把握施設のリストアップと調査票作りを行う ・島根県立高等学校は、H18年4月より敷地内禁煙が決まっている松江市立の学校は、既に敷地内禁煙となっている 幼稚園・保育園は現在調査中結果で対応とする ・体協へ働きかける ・ゲート イン ドラッグ(麻葉・シンナーなど薬物依存となる最初のきっかけがタバコである)の認識をもっと訴える ・(粉塵を)内緒で計って公表しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態を把握した上で、必要箇所には「禁煙の申し入れ」をする ・色々の場で、ドラッグとタバコの関係を訴える 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館等も分煙対策が進んできた(施設内禁煙化) ・学校の敷地内禁煙も進んできた
<p>【公共交通の禁煙について】</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・JRの車両は、「完全分煙」になっていない。喫煙車両は廃止、ないし、端にもっていくべき ・公共交通機関も全面禁煙が必要 ・タクシーの運転手は禁煙徹底を 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーについて、調査 運転士への禁煙支援 禁煙タクシーの推奨 ・JR、バスについて 駅、待合室停留所の調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が声を上げていく(イエローカードの利用も) ・当会として管理者または責任者へ申し入れをしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型新幹線内の分煙など、改善されつつある
<p>【飲食店・民間施設の禁煙について】</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・完全禁煙・分煙が進んでいない現状があるとくに、子どもが多く利用す 	<ul style="list-style-type: none"> ・管轄の役所から業界団体へ、全館禁煙、灰皿撤去、など強く働きかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・業界団体への指導を、管轄の役所へ要請する 	

<p>る場所は、完全禁煙が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 松江サティの風除室の禁煙コーナーは不完全であり、撤去してほしい。(通過時に煙に暴露、最終的に店内に煙が入る、店内には子どもが多い) * くにびきメッセの中のレストラン(子どもが多く利用)は全面禁煙を。 * テルサの1階の喫茶店は、煙が漂っている ・空気の美味しいレストラン(まめな通信に掲載)が増えない ・灰皿を出すことが、客へのサービスと思っている店がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物管理者・経営者に、「健康増進法」を周知し、取組みの必要性を認識してもらう ・まめな通信が、もっと読んでもらえるよう、広報する ・まめな通信で取り上げられることが、お店にとってプラスになるように ・シールなどで差別化をはかる ・松江サティへの追調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からも積極的にイエローカードを使用し、【健康増進法】を知り全館禁煙の必要性を認識してもらい、各店での取組みを求める ・まめな通信の紙面を工夫してもらう(大きく取り上げ、利用者の声も載せ、店のリストと共にアピール) ・会社などにもまめな通信を送って、掲示板に貼ってもらい、社内の話題づくりの1つに ・医療機関にもまめな通信を配布し、掲示してもらう(沢山の人の目に届くように) ・全館禁煙の店には、県からマル優の目立つシールを配布し、店頭に表示(貼ることで、良いイメージを持たれ、利用が増えるように) 	
<p>【喫煙者のマナーについて】</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・「くわえ(歩き)タバコ」のぼい捨てが目立つ ・歩きタバコで、煙を吸わされる ・町内会の会議が禁煙にならない。身近で直接言いにくい。 ・議員が特別に部屋を作り、喫煙している 	<ul style="list-style-type: none"> ・くわえ(歩き)タバコ禁止の条例制定につなげる。 ・路上喫煙禁止区域を設定し、喫煙場所を決める。 ・町内会をする場 = 公民館の禁煙化を進める ・路上喫煙の被害をアピールし、一般に周知する。 ・議員への働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・くわえ(歩き)タバコの状況、現状を把握しマップ化し、条例制定の資料とする ・公民館の禁煙状況を調査し、全館禁煙を要請する (松江市～館長による決定、安来市～周辺は禁煙、中央はまだ) 公民館職員の喫煙状況も一緒に調査し、タバコ分科会に報告する ・松江市健康フェアやプリアールフェ 	

		<p>スティバルで、パネルを展示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員へのアンケート、禁煙支援 	
【分煙対策について】			
<ul style="list-style-type: none"> ・職場に分煙室(喫煙室)がない ・建物内禁煙(屋外で喫煙)が望ましい ・禁煙でないところで働く人たちは、受動喫煙の被害を受けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心となる機関の喫煙対策の現状把握・指導 ・島根県たばこ対策指針を具体的に進め、行動計画をつくる(5年先まである) ・中小事業場の分煙状況把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所、青年会議所、ロータリーの禁煙状況問い合わせ調査 ・「島根県たばこ対策指針」の確認 ・中小事業場の分煙状況調査(労基署、産保センター) 	
【先生・指導者への教育】			
<ul style="list-style-type: none"> ・スポ小の指導者が子どもの前で喫煙している ・学校の先生の喫煙 ・先生が生徒の前で喫煙 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の禁煙の徹底(=を進める) ・すべての教員に禁煙支援 ・スポ小指導者、保護者への禁煙教育と禁煙支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・集まる機会を利用して、禁煙教育・禁煙支援をする ・H17年12月に公立学校共済組合島根県支部の主催で、禁煙支援を実施 	

未成年喫煙防止グループ

問題	計画	実行	評価
<p>【自販機について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未成年の喫煙者の大半は、自動販売機でタバコを買っている ・対面販売している店にも自動販売機が設置されている ・未成年者が買いやすいように自動販売機が設置されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・会として、タバコの値上げ（増税）を訴える 500円/箱に ・自販機にカメラ設置の義務化を訴える 法令遵守させる ・警察に取り締まりを強化させる 2006年3月までに警察の現状認識をヒアリングする 2006年4月以降、取り締まりの要望・陳情書を作成、提出 ・自販機の設置基準や審査の現状を調査し、問題点を探る ・問題のある自販機をリストアップする 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察に「未成年の喫煙」「未成年のタバコ販売」についての質問状を提出→担当者と面談 	
<p>【マスメディアの害について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TV番組中、喫煙シーンが美化されて流されている ・喫煙問題をマナーの問題にすり返る論調が幅をきかせている ・タバコをファッションの道具だとするビジュアル戦略 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国を相手にする活動は、今すぐというわけにはいかない ・ローカル限定ではあるが、マスメディアを逆に利用してタバコの害を啓発していく ・JAROに「喫煙シーン」を放送しないよう、意見をす 		